

# 紛争と和解 ——アフリカ・中東の事例から——

調査研究報告書

佐藤 章 編

2012 年 3 月

独立行政法人 日本貿易振興機構

アジア経済研究所

調査研究報告書

地域研究センター 2011－Ⅳ－14

「紛争と和解：アフリカ・中東の事例から」研究会

紛争と和解  
——アフリカ・中東の事例から——

調査研究報告書

佐藤 章 編

2012 年 3 月

独立行政法人 日本貿易振興機構

アジア経済研究所



## 目 次

目次	3
執筆者紹介	5
序章 紛争後の国家形成における和解の課題	7
佐藤 章	
はじめに	7
第1節 国家形成という着眼点	8
第2節 国家形成のプロセスとして和解をみる	10
第3節 和解——政治の強い影響下にある未完のプロジェクト——	11
第4節 和解が要請される社会的背景——正義との関係をめぐって——	13
おわりに	15
第1章 プロセスあるいは触媒としての和解	19
——紛争後社会における和解概念をどうとらえるか——	
阿部 利洋	
はじめに	19
第1節 和解の連続モデルと結合モデル	22
第2節 和解概念に対する触媒アプローチ	27
おわりに	34
第2章 政治闘争の道具としての和解	41
——戦後イラクの国民形成をめぐるポリティクス——	
山尾 大	
はじめに	41
第1節 脱バアス党政策に基づく戦後国家の再建	43
第2節 脱宗派対立に基づく国民和解	47
第3節 和解のポリティクス	50
結論	57
第3章 「シリア・アラブの春」をめぐる紛争の諸相	63
青山 弘之	
はじめに	63
第1節 アラブ・イスラエル紛争におけるシリア	64
第2節 政治主体間の対立	69
第3節 「シリア・アラブの春」	74
おわりにかえて	78

#### 第4章 北部ソマリアにおける「並行的」和解実践とその課題・・・・・・・・・・83

遠藤 貢

はじめに	83
第1節 ソマリ社会における「和解」とその実践	84
第2節 ソマリランドにおける紛争と「和解」過程	87
第3節 プントランドにおける紛争と「和解」過程	95
おわり——次年度に向けた研究課題——	99

#### 第5章 2007/8年紛争勃発後のケニアにおける国民和解と国際刑事裁判所・・・101

津田 みわ

はじめに	101
第1節 2007/8年紛争と「人道に対する犯罪」	103
第2節 紛争調査委員会の発足と特別法廷方式の提案	104
第3節 提案承認の難航	106
第4節 憲法改正案の否決	109
第5節 ICCによる裁きの開始	112
おわりに	116
図表	121

#### 第6章 南アフリカにおける和解政策後の社会統合・・・・・・・・・・127

——移民排斥問題とカラード・アイデンティティ・ポリティクスの台頭——

阿部 利洋

第1節 南アフリカ政府が採用した和解政策	127
第2節 ポスト・アパルトヘイト、ポスト TRC の社会背景	128
第3節 「他者」の前景化1——移民問題（南アフリカ外部のアフリカ人）——	130
第4節 「他者」の前景化2——カラード・アイデンティティ（南アフリカ内部の非アフリカ人）——	139
第5節 「国民形成の反動としてのゼノフォビア」理解	157
第6節 有資格者・適格者という考え方——南アフリカ黒人に共有される「属性」思考——	159
資料	168

## 執筆者紹介

佐藤 章 (さとう・あきら) 序章担当  
研究会主査  
アジア経済研究所 地域研究センター  
アフリカ研究グループ グループ長代理

阿部 利洋 (あべ・としひろ) 第1章 第6章担当  
研究会委員  
大谷大学文学部 准教授

山尾 大 (やまお・だい) 第2章担当  
研究会委員  
九州大学比較社会文化研究院 講師

青山 弘之 (あおやま・ひろゆき) 第3章担当  
研究会委員  
東京外国語大学総合国際学研究院国際社会部門 准教授

遠藤 貢 (えんどう・みつぎ) 第4章担当  
研究会委員  
東京大学大学院総合文化研究科 教授

津田 みわ (つだ・みわ) 第5章担当  
研究会幹事・委員  
アジア経済研究所 地域研究センター  
アフリカ研究グループ グループ長代理